「ありがとう」の絵手紙

６月 14 日（月）に，図工・書写の授業を兼ねて，「ありがとう」をテーマに，絵てがみを作りました。きっかけは，一般財団法人筆の里振興事業団が募集していた「第 23 回筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞」の公募からでした。

子どもたちに，「ちょっと大きな絵手紙をつくろうと思うんだけど…。」と伝えると，好感触で賛成してくれました。その後，「ちょっと大きな絵手紙がこれです。」と，子どもに提示すると，「ちょっとじゃなくて，大きいです。」と驚きの声が上がりました。こんな紙に文字や絵を書けるのは貴重な体験です。こんなに書けるのかなと不安な様子の子どももいましたが，いざ始まると，集中してどんどん書き進めていきます。手紙の相手は，両親，おじいちゃん，おばあちゃん，友達，ペット，見守り隊の方々など，それぞれが感謝の想いを綴っていきました。

筆の先を持って字を書いたり絵を描いたりする慣れない作業でしたが，次々に味のある作品が出来上がっていきました。心のこもった作品は，教室や階段踊り場の掲示板に飾っています。来校していただく機会がないため，直接見ていただくことはできないのが残念です。

今回の体験によって，絵手紙づくりに興味をもった子どもがいると思います。是非，ご家庭で一緒につくってみてはいかがでしょうか。

改めて，「ありがとう」という言葉のあたたかさを感じたひと時でした。